

令和2年度事業

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

令和3年11月

隠岐の島町教育委員会

1. 点検・評価の趣旨等について

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に基づき、教育委員会の権限に属する令和2年度の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するところです。

(2) 点検・評価の対象

今回の点検・評価は、令和2年度の教育委員会の活動状況及び教育委員会の主要な事業に係るものです。

(3) 点検・評価の方法

教育委員会の活動状況及び教育行政に係る主要な事業について、所管する課及び公民館等が点検・評価を行うとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、隠岐の島町教育委員会事務評価委員会の評価を踏まえ、総合的に点検・評価した報告書を作成しました。

○ 隠岐の島町教育委員会事務評価委員会

委員長 角脇 一夫
副委員長 野津 真一
委員 小川 静香
委員 金田 洋二郎
委員 名越 玲子

○ 事務評価委員会の開催状況

令和3年 8月31日
令和3年 9月10日
令和3年 9月29日

2. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の会議の開催状況

令和2年 4月23日 定例会

隠岐の島町教育委員会教育長職務代理者の指名について
隠岐の島町教育委員会事務評価委員会委員の解職について
隠岐の島町教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について
隠岐の島町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について
隠岐の島町がんばれ島のキッズ島外遠征事業補助金交付要綱の一部改正について
隠岐の島町社会教育委員の委嘱について
隠岐の島町スポーツ推進審議会委員の委嘱について
隠岐の島町図書館運営委員会委員の委嘱について

令和2年 5月21日 定例会

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
令和2年度教育行政の方針について

令和2年 6月30日 定例会

令和元年度隠岐の島町一般会計補正予算（第6号）に関する意見について
令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第2号）に関する意見について
隠岐の島町学校管理規則の一部改正について
隠岐の島町教育委員会事務専決及び代決規程の一部改正について

令和2年 7月27日 定例会

令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第4号）について

令和2年 8月26日 定例会

令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第5号）に関する意見について
令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第6号）について
物品購入契約の締結について〔小型ガス式フライヤー一式購入〕
令和3年度使用教科用図書採択について

令和2年 9月30日 定例会

令和2年度隠岐の島町小中学校修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金交付要綱の制定について
隠岐の島町生涯スポーツ推進計画策定委員会設置要領の廃止について
隠岐の島町立小中学校通信ネットワーク整備工事の計画について
小中学校特別教室空調設備整備工事の計画について
令和元年度「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」報告書について
隠岐の島町社会教育委員の解嘱について

令和2年10月22日 定例会

（審議事項なし）

令和2年11月26日 定例会

令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第7号）に関する意見について
令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第8号）について
隠岐の島町スポーツレクリエーション施設設置及び管理条例の廃止について
隠岐島文化会館設置及び管理条例の一部改正について
隠岐島文化会館設置及び管理条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町総合体育館設置及び管理条例の一部改正について
隠岐の島町総合体育館設置及び管理条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町武道館設置及び管理条例の一部改正について
隠岐の島町武道館設置及び管理条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町総合学習センター設置及び管理条例の一部改正について
隠岐の島町総合学習センター設置及び管理条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町町民体育館設置及び管理条例の一部改正について
隠岐の島町町民体育館設置及び管理条例施行規則の一部改正について
隠岐の島町生涯学習センター設置及び管理条例の一部改正について
隠岐の島町指定有形文化財の指定について
隠岐島文化会館等（西郷武道館含む）に係る指定管理者の選定について
隠岐の島町スポーツ推進委員の解嘱について

令和2年12月23日 定例会

小中学校校舎・屋内運動場照明 LED 化工事（北小学校・西郷中学校・西郷南中学校）の計画について

小学校屋内運動場照明 LED 化工事（西郷小学校・都万小学校）の計画について

令和3年 1月29日 定例会

隠岐の島町教育委員会教育長職務代理者の指名について

令和3年 2月 9日 臨時会

県費負担教職員の人事の内申について

令和3年 2月26日 定例会

令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第10号）について

令和3年度隠岐の島町一般会計当初予算について

隠岐の島町佐々木家住宅設置及び管理条例の一部改正について

隠岐の島町立学校教職員旧姓使用取扱要綱の制定について

令和3年 3月24日 定例会

令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算（第10号）の繰越明許費に関する意見について

2災1号 西郷中学校土地災害復旧工事の計画について

隠岐の島町生涯スポーツ推進計画について

(2) 総合教育会議の開催状況

令和2年 4月23日

隠岐の島町教育大綱について

令和3年 1月29日

第2次隠岐の島町教育大綱の策定について

中学生議会についての意見交換

令和3年 3月24日

第2次隠岐の島町教育大綱の策定について

(3) 教育委員会の会議以外の活動状況

令和2年10月22日

五箇中学校訪問

ペレットボイラー施設見学

五箇小学校訪問

学校経営方針説明及び意見交換、英語科授業参観

3. 教育委員会の主要な事業の点検・評価

所管する課及び公民館等が選定した教育委員会の以下の事業について、点検・評価を行いました。

番号	事業名	予算科目	担 当
1	英語指導事業（ALT 配置事業）	教育指導費	総務学校教育課
2	学校図書充実事業（学校司書配置事業）	教育指導費	総務学校教育課
3	特別支援教育事業	教育指導費	総務学校教育課
4	高校魅力化事業	教育指導費	総務学校教育課
5	魅力ある学校づくり事業	教育指導費	総務学校教育課
6	教育情報化推進事業	教育指導費	総務学校教育課
7	教育情報機器整備事業	教育指導費	総務学校教育課
8	教育振興事業（小学校）	小学校費 教育指導費	総務学校教育課
9	教育振興事業（中学校）	中学校費 教育指導費	総務学校教育課
10	小学校空調設備整備事業	小学校費 学校施設費	総務学校教育課
11	中学校空調設備整備事業	中学校費 学校施設費	総務学校教育課
12	有木小学校大規模改修事業（繰越）	小学校費 学校施設費	総務学校教育課
13	学校給食調理事業	学校給食費	学校給食センター
14	青少年育成支援事業	社会教育総務費	社会教育課
15	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業	社会教育総務費	社会教育課
16	隠岐島文化会館管理運営事業	社会教育総務費	社会教育課
17	保健体育活動推進事業	保健体育総務費	社会教育課
18	総合運動公園管理運営事業	体育施設費	社会教育課
19	温水プール管理運営事業	体育施設費	社会教育課
20	図書館管理運営事業	社会教育施設費	社会教育課
21	文化財保存継承事業	文化財保護費	社会教育課
22	佐々木家住宅管理運営事業	文化財保護費	社会教育課
23	公民館活動振興事業 中央公民館	公民館費	中央公民館
24	公民館活動振興事業 布施公民館	公民館費	中央公民館
25	公民館活動振興事業 五箇公民館	公民館費	中央公民館
26	公民館活動振興事業 都万公民館	公民館費	中央公民館

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名						英語指導事業	
事業名						総務学校教育課	
予算額	13,806	決算額	12,596	財 源 内 訳			
				特定財源		一般財源	12,596

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

外国語指導助手（ALT）を各小・中学校へ派遣し、児童生徒の英語教育充実と国際理解の推進を図ります。

また、地域における国際交流活動への協力を行うことで住民の国際理解を深めていきます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

(4月～7月は3名体制、8月～3月は2名体制)

- ALT雇用費 3名→2名 9,311 千円
- ALT小中学校派遣経費（移動交通費） 2,395 千円
- 事務費 890 千円
 - ・(財)自治体国際化協会負担金 232 千円
 - ・事務消耗品費他 658 千円



中学校での授業風景



小学校での授業風景

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

外国語指導助手（ALT）が授業に参加することで子どもたちが生きた英語を学び、自然な英会話活動を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができました。小学校においては、ALTが授業の補助に入ることによって、英語免許を持たない教員の負担や不安感を軽減するとともに円滑な授業運営が図られました。

また、給食の時間や休み時間にも子どもたちと関わることもあり、授業とは違った形で文化や言語など出身国についての話題にも触れられ、異文化・国際理解にもつながりました。

(2) 今後の課題

令和2年度から小学校5、6年生は教科としての「外国語科」、小学校3、4年生は「外国語活動」が始まり年間授業数が大幅に増加したため、ALT、教員双方の負担感を軽減し、効果的な授業運営が実現できる体制を整える必要があります。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名		英語指導事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外国語教育の重要性が叫ばれる中、若年期から外国人や英語に触れ、生きた英語を学ぶ機会を担保することは重要であり、小・中学校の英語の授業にALTを派遣することにより、子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の向上に大きく貢献している。 ○新学習指導要領による外国語科の新設に適切に対応するため、ALT 3名配置に尽力をお願いしたい。併せて、ALTの配置が3名でいいのか等の検討も必要である。 ○ALTが島内を移動するための一人当たりの年間費用が高額となっており、効率や移動手段を見直し、減額をすべきである。 ○民間のオンライン英語学習についても活用を検討してはどうか。 ○ALTの学校外での国際交流活動は、本来の職務外で負担が大きいのではないか検討を要する。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○子どもたちと保護者が、どれだけ外国人や英語との距離を身近に感じることができるようになるかだと思ふ。家庭の会話の中でも学校で習った英語のことや、ALTが教えてくれる外国の文化に興味を持ったりするなど、継続して行っている成果が出ていると感じる。 ○ALTには、児童・生徒を引きつける授業上手な方が多いので、貢献度は大きい。 ○年間時数の増加によるALT、教員双方の負担軽減のためには、年間計画の充実が求められる。年間計画を充実させることで、直前の打合せもスムーズに済ませることができる。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名		学校図書充実事業				総務学校教育課	
予算額	25,324	決算額	23,655	財 源 内 訳			
				特定財源	12,579	一般財源	11,076

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させ、児童生徒の豊かな心を育むための読書活動の推進と、学ぶ力に繋がる情報活用能力の育成を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 学校司書雇用費（11校） 20,862 千円
- 図書・備品購入費 2,788 千円



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

令和2年度に、小中学校全11校への学校司書配置が初めて実現しました。図書館に人がいることで子どもたちの居場所として大きな役割を果たしました。

また、教科書の単元に沿ったテーマの関連本をそろえることで、より深い学習につなげることができました。多様なニーズを踏まえた選書、社会状況の変化や学問の進展により利用価値が低下した図書を廃棄し、図書館資料を適切に整備しており、図書の年間貸出し冊数も増加しています。

(2) 今後の課題

情報化社会において、これからの未来を生きていく児童生徒の情報活用能力の育成が大きな教育的課題であり、学校司書による図書館資料を用いた情報活用能力の育成支援が不可欠です。専門性を求められる場面も多いですが、経験年数の違いが知識やスキルの差に直結しやすいです。研修による能力向上機会の創出や、学校司書間のサポート体制および校内での連携の強化が必要です。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名		学校図書充実事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全小中学校に司書を配置したことは、学校図書館の機能を充実させる上で大きな成果があったと思う。今後、貸し出し冊数の個人・学校データを客観的にとりこれを公表したり、同学年や学校対抗などで表彰するなど、読書活動の充実に力を入れられることを期待したい。 ○「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させ、多様なニーズに対応した情報提供ができるようお願いしたい。 ○司書の資質向上のための研修会や情報交換の場を増やすなど工夫してほしい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○図書司書の配置で学校の図書室の機能は大きく前進している。専門職によるさらなる機能の充実が期待される。 ○教員と連携をとりながら、学習指導における学校図書館の活用を進めていただきたい。 ○読書活動の充実のためには、図書司書が生徒会や児童会の図書委員会と連携し、児童・生徒の自主的な活動としての取り組みも有効ではないか。 <p>(読書目標・・・前期は全校で1,500冊 →達成 →後期は全校で1,700冊 →計3,200冊達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図書館資料を用いた情報活用能力の育成は、図書司書と教科担任が年度当初に計画を立て、計画的に実施することができる。(学校図書館にない本は、県立図書館より借り受けるよう計画するなど) ○特に調べ学習の多い「ふるさと学習」については、ふるさと学習主任と学級担任、図書司書の共通理解のもとで情報活用能力の育成をより具体的に目指すことができる。(図書司書は、郷土関係の書物を特設し、授業者はそれについて熟知しておく必要がある。) 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名	特別支援教育事業					総務学校教育課	
予算額	21,953	決算額	21,698	財 源 内 訳			
				特定財源	53	一般財源	21,645
<p>【1. 事業の目的】 (単位：千円)</p> <p>児童生徒の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに合わせた支援を行うことで、生活や学習上の困難を改善または克服します。 また、教育・保健・福祉の関係部局・関係機関と連携した相談体制を整備し、障がいのある子どもとその保護者に対し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行います。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別な支援のための支援員配置経費 18,796 千円 支援員配置（18名） ●特別支援教育コーディネーター配置経費 2,654 千円 ●事務費 231 千円 <ul style="list-style-type: none"> 隠岐の島町相談支援チーム活動経費（相談件数 93件） 81 千円 隠岐教育支援委員会活動経費（審査案件 20件） 150 千円 <p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果 支援を必要とする児童生徒を支援員が支援することで、当該児童生徒が学級の中で安心して生活し、学習に取り組む姿勢が見られました。 相談支援チームの相談活動等により、的確な実態把握や適切な支援につなげることができました。 特別支援教育コーディネーターが、保健師や隠岐養護学校と連携しながら保育所訪問等の活動を行うことで、早期の気付きや、保護者・保育士への適切な支援や、指導助言を行うことができました。 隠岐教育支援委員会の就学相談活動等により、様々な就学についての指導助言を行うことができました。</p> <p>(2) 今後の課題 相談支援チームや隠岐教育支援委員会への相談件数は年々増えており、保護者や教職員の特別支援教育への理解関心の深まりが見られますが、これに対応するスタッフの人数は限られており、対応に苦慮しています。 また、支援員の配置希望が年々増加傾向にあり、支援員の配置が決定しても、支援員の確保が難しい状況が継続しています。</p>							

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名		特別支援教育事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○特別な支援が必要な子どもたちのための支援員を配置していることにより、当該児童生徒の実情に応じた指導が充実している。</p> <p>○当事業に関わる各人材の確保が困難な状況にあるが、予算の確保とともに引き続きネットワークを広げて人材確保に努めてほしい。</p> <p>○子ども達にとっては、支援員との出会いや支援によって学びに向き合えるようになる。支援員の専門性も求められると思うので、研修の機会を確保していただきたい。</p> <p>○障がいの有無に関わらず「パーソナリティ」が大切にされる現在、町としても余裕を持った対応ができるよう事業を拡充していく必要がある。引き続き、関係機関と連携を図りながら一人一人の抱える課題に対して、きめ細やかな支援体制の充実が必要である。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○障がいのある児童生徒の支援体制は、とても充実してきているが、不登校、いじめに対する相談活動は見えてこない。障がいのある子どもと同様、いじめ、不登校の子ども、保護者、学校は悩みを抱えて支援を必要としている。連携した支援体制の充実が望まれる。</p> <p>○支援員の人材不足を抜本的に解消することは難しいが、ニーズの高まりに沿えるよう一人でも多くの支援員を確保するよう努力していただきたい。</p> <p>○支援員募集にあわせて、支援員の勤務内容、役割、その必要性を発信するなどし、特別支援教育の理解推進につなげて欲しい。</p> <p>○指導力の高い支援員は、ある程度専門的な知識技能を習得している人が多いことから、研修の機会を持つことが必要である。</p> <p>○小中学校の特別支援学級が交流学級とともに行う活動は、町の共生社会を目指す取り組みと同じ方向性を持つものであり、特別な支援とともに重要視されるべきである。支援員の支援と交流学級の児童・生徒との活動の充実が並行して行われることが望ましく、支援を必要とする児童・生徒が活躍できるよう、工夫した学級活動を企画し実践すること。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名	高校魅力化事業					総務学校教育課	
予算額	15,654	決算額	14,801	財 源 内 訳			
				特定財源	8,362	一般財源	6,439

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 少子高齢化、人口減少が進む中、町内の県立高校存続が本町の人口維持に大きな影響を与えるのは言うまでもなく喫緊の課題です。
 そのために、地域の学校と行政が協働し、高校の魅力を高め県外留学生を含め、生徒確保を推進していきます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 高校魅力化コーディネーター配置経費 8,927 千円
 - コーディネーター 3名 7,375 千円
 - 事務費（研修費、学習会他） 1,552 千円
- 県立高等学校魅力化事業補助金 5,874 千円
 - オープンスクール参加宿泊費補助（生徒73名、保護者70名） 1,401 千円
 - 学習支援補助（Classi利用料 192名、入試対策問題集 60点） 836 千円
 - 高校寮費等助成事業（対象者60名） 3,360 千円
 - 部活動遠征費補助（2,690円×103名） 277 千円
 - 研修旅行助成事業（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）

◇隠岐高校オープンスクール



◇隠岐水産高校オープンスクール



◇隠岐水産高校オンライン説明会



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

隠岐高校に2名、隠岐水産高校に1名のコーディネーターを配置することにより、高校魅力化事業を推進しました。

高校寄宿舎の寮費助成、オープンスクール参加費の補助を実施し、町外生徒の確保に努めました。隠岐高校1名、水産高校47名の町外生の受入れに寄与しています。

教員数が減となっているため、生徒の学力向上のための学習支援補助としてClassi利用料助成及び生徒の学力や志望校レベルの問題集購入費の助成など、学習環境の整備に寄与しています。

また、部活動遠征に係る費用の一部について助成による保護者の負担軽減を図りました。なお、研修旅行については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施できませんでした。

(2) 今後の課題

教育委員会以外の部署において高校への支援を行う事業について、より効果的に事業実施ができるよう町の各担当課と調整する必要があります。


また、令和3年度より隠岐養護学校にもコーディネーターを配置していることから、今一度、コーディネーターの役割について各学校、町とで協議しながら連携を深めます。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名		高校魅力化事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーターの精力的な活動も見受けられ、当事業の実施により、島外からたくさんの高校生が入学しており当初の目的を達成している。コーディネーターをはじめ、関係機関と連携して事業展開されたと思う。 ○今後、取り組みを進めていく中で、保育所、小・中学校、高校、特別支援学校を含めた町としての「教育の魅力化」をどう進めていくか、一貫した大きなビジョンがあるといいと思う。 ○役場各課との連携協力が見えてこない。全町的な取り組みが、町の発展にも貢献すると思われる。 ○評価が困難で形になって見えにくい事業であるため、具体的な目標があればよいと思う。 ○生徒一人一人が隠岐の今を好きになれるような学びへと繋げることが重要である。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○魅力化を進める上で、各校の魅力とは何か、目指すものや目標を明確にし、また、それを町民に発信していただきたいと思う。 ○高校とコーディネーターと町が一体となって進めるべき事業で、そこにもっと多くの町民もプラスされていくような流れが理想的であるように思う。 ○島外、県外からの入学生を増やすために関係各課の連携を進めて欲しい。 ○島外からの生徒呼び込みはもちろんだが、島内の生徒が流出していく理由にも目をむけてみる必要があるのではないか。 ○島内の中学生が島外の高校に進学することは、進路選択の自由からも規制はできないが、ふるさとを考えることなどを通して、島内の高校も地域活性化の役割を担っていることを中学生にも伝えたい。 ○隠岐高校魅力化の取り組みの1つに「ジオパーク研究」があるが、ジオパークの3つ目の要素の「人の営み」につなげる支援がもっと欲しい。「人の営み」の掘り下げこそ、隠岐の良さへの認識が深まっていく。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名	魅力ある学校づくり事業					総務学校教育課	
予算額	19,466	決算額	18,359	財 源 内 訳			
				特定財源	7,865	一般財源	10,494
<p>【1. 事業の目的】 (単位：千円)</p> <p>児童数減少により複式学級が増加するため、非常勤講師を配置し、教育の質の向上を目指します。 ふるさと教育を推進するための移動に係る経費の支援を行います。 中学校の各種大会参加に係る経費の補助、小中学校の修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減を図ります。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●複式教育推進事業 10,339 千円 非常勤講師配置経費（5名） ●ふるさと教育推進事業 560 千円 スクールバス臨時運行委託料 504 千円 タクシー借上料 56 千円 ●中学校各種大会参加費補助 2,483 千円 ●修学旅行費補助 2,855 千円 小学校 修学旅行費 児童 1,485 千円 小学校 修学旅行費 引率 168 千円 中学校 修学旅行費 生徒 1,104 千円 中学校 修学旅行費 引率 98 千円 <div style="text-align: center;">  <p>ふるさと教育(環境・川の学習)</p> </div> <p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果 複式教育推進事業では、複式学級を編成する学校に非常勤講師を配置することにより児童の学力の向上に貢献することができた。 中学校各種大会参加費や修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減が図られました。</p> <p>(2) 今後の課題 複式教育推進事業においては、全国的な教職員不足による安定的な人材確保が課題です。</p>							

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名		魅力ある学校づくり事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○複式教育推進事業は複式学級の授業の充実と児童の学力向上に貢献した。人材確保については、教員退職者へのアプローチを積極的に行って欲しい。また、オンラインで他校とつないで学習するなど、工夫次第で更に充実したものになると思う。</p> <p>○一方で複式学級の意義については、今一度考えるべきである。誰が主体で、何のための複式か、教育（地区に学校を残すこと）を地域活性化とイコールにしてはならない。</p> <p>○小中学生は様々な学習や体験の場が保障されており、意義のある事業だと思う。</p> <p>○中学校の各種大会参加費補助や就学旅行費の補助については、離島ならではの移動に関わる費用なので、支援は必要だと思う。今後、保護者へのPRを行って欲しい。また、クラウドファンディング等を利用して、広く協力を求めることも検討いただきたい。</p> <p>○子どもたちのためではあるが、学校の体制整備、保護者負担の軽減が主な内容となっており、もう少し幅広い事業を期待したい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○複式教育推進事業の非常勤講師の配置は、児童生徒の学力向上だけでなく、学校運営においても大きな力になると思われる。</p> <p>○ふるさと学習の年間計画に、予定する学習内容とそれを指導する地域講師をあげておき、計画的に実践することで成果が上がると思う。（過去に地域講師80名を招へいし、年間100時間の授業を実施していただいたことがあり、これにより、郷土愛が更に深まった。）</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名	教育情報化推進事業					総務学校教育課	
予算額	106,775	決算額	46,666	財 源 内 訳			
				特定財源	46,666	一般財源	0

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

文科省「GIGAスクール構想の実現」において掲げられている、児童生徒が一人一台の端末を利用してインターネット等を活用した学習ができる校内ネットワーク環境を整備します。

【2. 主な事業の概要（実績）】※令和元年度からの繰り越し

- 高速無線LAN整備工事 11校 45,595 千円
- インターネット回線強化 11校 1,071 千円

無線LANアクセスポイント
(Wi-Fi電波を飛ばします)



充電保管庫
(iPadを保管・充電します)

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

各学校に校内無線LAN (Wi-Fi) を整備することで、PC・タブレット端末の活用に必要なネットワーク環境を確保し、個別最適な学びと協働的な学びの実現に寄与しました。

また、校外インターネット回線を強化することで、インターネット接続の遅延を解消し、より効果的にICT機器を利活用できるなど教育環境が向上しました。

(2) 今後の課題

ICT技術は向上し続けており、情報セキュリティに係る考え方も変化し続けてます。今日の常識が5年後も通用するとは限らないため、定期的にネットワークの構築方法等を見直し、時代の変化に合わせて適切に運用する必要があります。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名		教育情報化推進事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○国のGIGAスクール構想の推進のため校内LANの整備を行ったことは、ICT教育の推進充実に寄与している。しかし、整備の遅れにより、児童生徒が活用するところまでいっていないことは大きな課題であり、都会地との学びの格差が生じないようにお願いしたい。</p> <p>○情報セキュリティに関する問題については、学校と連携を密にして適切な対応をお願いしたい。</p> <p>○Society5.0(※)の社会に向かって、いかに早くICTを導入し、適切に運用するかが大切である。県内にも益田市など先進的な取組をしている所はあり、視察に行くなど、早期にGIGAスクール構想を実現されることを期待したい。</p> <p>※ Society 5.0 (ソサエティ5.0)</p> <p>Society5.0とは、AIとIoTを基礎として産業革命に匹敵する変革を実現しようとする政府の提言。仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○コロナ後であっても有効活用できるよう、教員のスキル向上のための研修の充実を図っていただきたい。</p> <p>○現状、子どもたちにとってタブレットは、SNSやゲームをするための道具であり、学習ツールとして使用する認識が低いように思う。都会では実際に、授業中にタブレットを使用したいじめ等が起こり、自殺する事案も発生しているため、慎重に進めていただきたい。モラル教育やネットリテラシー教育の推進と充実を大切にしていきたい。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名	教育情報機器整備事業					総務学校教育課	
予算額	38,608	決算額	2,759	財 源 内 訳			
				特定財源	1,784	一般財源	975

【1. 事業の目的】 ※35,849千円を翌年度に繰り越し (単位：千円)

ICT機器を有効活用した主体的で個別最適化された学びを実現するため、タブレット端末等の機器を整備します。

【主な事業の概要（実績）】

- タブレット端末整備 656台 翌年度に繰越
- モバイルルータ購入 169個 2,530 千円
- 入力支援装置購入 4個 66 千円
- 遠隔学習用ウェブカメラ購入 11個 163 千円



ウェブカメラ



プログラマブルキーボード



トラックボール



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

モバイルルータ端末、ウェブカメラを整備することで、臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒が円滑にやりとりを行える環境の整備を図ることができました。

パソコン・タブレット端末の入力操作に困難さを抱える児童生徒用にトラックボールやプログラマブルキーボードを購入し、全児童生徒がICT機器を積極的に利活用できるなど学習環境が向上しました。

(2) 今後の課題

AI等急速な進化等技術革新が目覚ましく進展・普及していますが、本町では、文部科学省が示しているICT環境整備方針の目標値に達していません。ICT先端技術を有効に活用した学びを実現するために、タブレット端末の整備を進めるとともに、大型提示装置等の周辺機器の整備を推進することが重要です。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名		教育情報機器整備事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○GIGAスクール構想で掲げられる一人一台端末は、すごく期待される事業であるが、タブレット端末の学校への配備が遅れているため、早急に学校に配布し児童生徒が活用できるよう努めてほしい。</p> <p>○タブレット端末等、あくまでツールであり、機器使用が目的とならないよう十分な配慮が必要である。</p> <p>○電子黒板やプロジェクターなどの大型提示装置は、授業に欠かせない重要な機器である。県立学校や先進校の情報を収集したり、学校現場の意見を集約するなどして、より使い勝手のいい機器の購入を進めていただきたい。また、教育委員会として予算確保が強く望まれる。</p> <p>○今後の活用内容、機器の更新、メンテナンス等の専門的な知識や技術を要することも多いが、町として十分に対応を検討していただきたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○有効活用のために教員の研修の充実を図っていただきたい。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 8
事業名	教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	26,132	決算額	23,084	財 源 内 訳			
				特定財源	944	一般財源	22,140

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

町立小学校7校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。
いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。
経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 教材等整備費 15,795 千円
 - 教育用教材 5,693 千円
 - 教育用指導書 9,765 千円
 - その他備品等 337 千円
- いじめ対応支援事業 273 千円
 - アンケート調査用紙の購入
- 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 6,565 千円
 - 就学援助費 6,424 千円
 - 特別支援教育就学奨励費 141 千円



ミシン(家庭科)



分度器シート(算数)

【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
小学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。
児童にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。
経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。
- (2) 今後の課題
ICT機器の活用においてハード面の整備は進めていますが、ソフトウェアの導入・活用には至っていません。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 8
事業名		教育振興事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○教材備品や教師指導書に多額の予算を充てていることから各学校において、児童の学力向上のために有効に活用すること。</p> <p>○いじめ対応のアンケート調査は、お互いを大切にする学級集団をつくる上で効果的な事業であるが、「アンケートをやった。」で終わらせず、その結果を活用し、今後に繋げていただきたい。</p> <p>○いじめ対策については、学校により対応が随分と異なるように感じる。行き場のない子どもの意見の尊重（子どもの権利条約）が必要と思われる。</p> <p>○就学援助費については、コロナ禍において今後とも増加すると思われる。誰もが平等に教育を受けるためにも、民生児童委員等との連絡を密にし、真に援助が必要な家庭に手を差しのべる必要がある。</p> <p>○ICT機器の導入は進んでいるようであるが、ICT機器の効果的活用に向けたソフトウェアや、プログラミング教育の推進に向けた整備についても早急に進めていただきたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○学校経営（いじめ対策基本計画なども含む）や学級経営にいじめ対応の「アンケート」を位置付け、実際の対策に活用することで成果を上げられるのではないかと。</p> <p>○「学級づくり」の研修を教育事務所と教育委員会が共同で企画し、「6年目研修」などに位置付けるべきである。（校内研修を行うことで、教員各自が実践してきた。）</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 9
事業名	教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	10,854	決算額	8,742	財 源 内 訳			
				特定財源	330	一般財源	8,412

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

町立中学校4校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。
いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。
経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 教材等整備費 2,015 千円
 - 教育用教材 1,623 千円
 - 教育用指導書 58 千円
 - その他備品等 334 千円
- いじめ対応支援事業 217 千円
 - アンケート調査用紙の購入
- 就学援助費・特別支援教育就学奨励費 5,946 千円
 - 就学援助費 5,904 千円
 - 特別支援教育就学奨励費 42 千円



卓上バンドソー(技術)



ホルン(音楽)

【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
中学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。
生徒にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。
経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。
- (2) 今後の課題
ICT機器の活用においてハード面の整備は進めていますが、ソフトウェアの導入・活用には至っていません。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 9
事業名		教育振興事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○教材備品や教師指導書に多額の予算を充てていることから各学校において、生徒の学力向上のために有効に活用すること。</p> <p>○いじめ対応のアンケート調査は、お互いを大切にする学級集団をつくる上で効果的な事業であるが、「アンケートをやった。」で終わらせず、その結果を活用し、今後に繋げていただきたい。</p> <p>○いじめ対策については、学校により対応が随分と異なるように感じる。行き場のない子どもの意見の尊重（子どもの権利条約）が必要と思われる。</p> <p>○就学援助費については、コロナ禍において今後とも増加すると思われる。誰もが平等に教育を受けるためにも、民生児童委員等との連絡を密にし、真に援助が必要な家庭に手を差し伸べる必要がある。</p> <p>○ICT機器の導入は進んでいるようであるが、ICT機器の効果的活用に向けたソフトウェアや、プログラミング教育の推進に向けた整備についても早急に進めていただきたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○学校経営（いじめ対策基本計画なども含む）や学級経営にいじめ対応の「アンケート」を位置付け、実際の対策に活用することで成果を上げられるのではないかと。</p> <p>○いじめ対応のアンケートはあくまでも指導のきっかけであり、日頃からの学級経営こそ重要である。学級づくりがうまくいっている学級では、いじめや不登校は起こりにくだけでなく、ともによりよい生活を生み出すことで、将来的に地域社会での共生のまちづくりに生かされていく基礎となる。</p> <p>○「学級づくり」の研修を教育事務所と教育委員会が共同で企画し、「6年目研修」などに位置付けるべきである。（校内研修を行うことで、教員各自が実践してきた。）</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 10
事業名	小学校空調設備整備事業					総務学校教育課	
予算額	122,635	決算額	122,529	財 源 内 訳			
				特定財源	122,275	一般財源	254

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
町内全小学校（7校）の特別教室へエアコン設置を行うことで、快適な教育環境の整備を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 小学校空調設備整備 118,129 千円
 - ・ 西郷小学校空調設備整備工事（特別教室 4室） 23,100 千円
 - ・ 中条小学校空調機設置電気設備工事（特別教室 8室） 11,165 千円
 - ・ 有木小学校空調機設置電気設備工事（特別教室 5室） 12,650 千円
 - ・ 磯小学校空調設備整備工事（特別教室 7室） 23,100 千円
 - ・ 北小学校空調設備整備工事（特別教室 5室） 19,690 千円
 - ・ 五箇小学校空調機設置電気設備工事（特別教室 6室） 16,764 千円
 - ・ 都万小学校空調機設置電気設備工事（特別教室 4室） 11,660 千円
- 各小学校空調設備設計業務 4,400 千円

◇西郷小学校空調設備(室内)



◇西郷小学校空調設備(室外)



【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
夏季の熱中症対策として、町内全小学校（7校）の特別教室に冷房設備を整備し、生徒の安全確保及び学習環境の改善が図れました。
- (2) 今後の課題
令和元年度の普通教室の空調設備整備に続いて、2年度は特別教室の整備となり、町内の小学校全校で整備されたため、今後の維持管理や更新について計画的に進める必要があります。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 10
事業名		小学校空調設備整備事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別教室にも空調設備が整い、学校の教育環境が向上した。しかし、一部の教室で未整備があり、学校間に格差が生じないように早急に整備すべきである。 ○新型コロナウイルス感染対策や地球環境問題に対応したエアコンの使い方など学校への指導が望まれる。 ○将来的に電気料金の上昇が見込まれるため、コストを抑える方法を検討する必要がある。 ○今後は、施設の定期的なメンテナンスを行うなど適切な管理をし、子ども達の学習に影響がないようお願いしたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 11
事業名	中学校空調設備整備事業					総務学校教育課	
予算額	7,407	決算額	7,407	財 源 内 訳			
				特定財源	7,386	一般財源	21

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
町内全中学校（4校）の特別教室へエアコン設置を行うことで、快適な教育環境の整備を図ります。

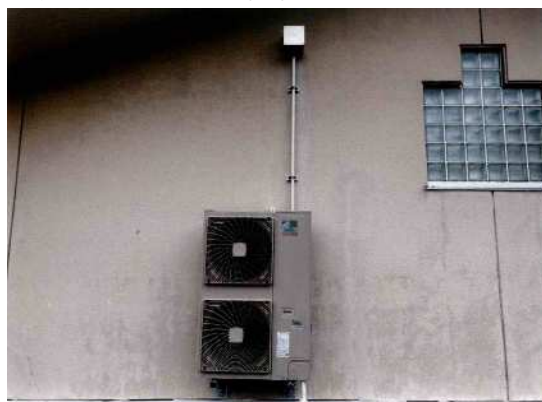
【2. 主な事業の概要（実績）】

- 中学校空調設備整備 7,407 千円
 - ・ 中学校特別教室空調設備設計業務（4校） 3,586 千円
 - ・ 西郷南中学校空調設備整備工事（美術室） 3,821 千円

◇ 西郷南中学校空調設備(室内)



◇ 西郷南中学校空調設備(室外)



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

夏季の熱中症対策として、町内全中学校（4校）の特別教室に冷房設備を整備する予定でしたが、8月に発生した豪雨災害の影響で、工事発注の遅れ等により、年度内に完成させることが困難となったため、中学校特別教室への空調整備計画を見直すこととなりました。

なお、西郷南中学校については、一部のクラスで生徒数の関係から三密回避を目的に、広い美術室を利用することとなったため、先行して整備を進めました。

(2) 今後の課題

中学校の特別教室空調設備整備については、今後の事業計画を見直し、出来るだけ早い時期に整備できるよう努力します。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 11
事業名		中学校空調設備整備事業				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○特別教室への空調設備を整備できなかった中学校においては、音楽や理科などの教科指導に必要な特別教室を優先に取り付け、学校間に格差が生じないように早急に整備すべきである。</p> <p>○将来的に電気料金の上昇が見込まれるため、コストを抑える方法を検討する必要がある。</p> <p>○今後は、施設の定期的なメンテナンスを行うなど適切な管理をし、子ども達の学習に影響がないようお願いしたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 12
事業名	有木小学校大規模改修事業（繰越）					総務学校教育課	
予算額	172,993	決算額	172,992	財 源 内 訳			
				特定財源	172,939	一般財源	53

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
有木小学校校舎、体育館の改修及び普通教室の空調設備を整備することで、安全快適な教育環境の整備を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 有木小学校校舎改修工事・設計監理業務 172,915 千円
 建設工事一式 (校舎A=1,682㎡ 外壁、床、スロープ等)
 (仮設校舎A=262.99㎡)
 電気設備工事一式 (幹線、電灯設備、火災報知器、音響設備等)
 機械設備工事一式 (衛生器具設備、給排水設備、空調設備等)
- 事務費 77 千円

◇有木小学校校舎外観及び教室等



【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
令和元年8月に着工し、繰越事業として整備を進めてきた有木小学校校舎の大規模改修事業が完成し、児童の安全で快適な教育環境の確保が図られました。
- (2) 今後の課題
今回のような大規模改修事業においては、教育委員会事務局に専門の技師がいないため、検討不足により様々な影響がありました。
今後、事業を進めていくには、施設管理課の協力を得ながら、設計段階から学校側との意見調整をしっかりと行い、最適な工法や工程を十分検討する必要があります。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 3	学校施設費	所管課	No. 12
事業名		有木小学校大規模改修事業（繰越）				総務学校教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちが、快適に教育を受けるためには必要な事業である。 ○工事期間が大幅に延長されたが、設計段階から綿密な工程管理を計画するべきであった。 ○子ども達の健やかな成長や安心・安全を守るため、学校施設の改築や改修にあたっては、教育委員会のみでなく建設課・施設管理課等の協力を得るなど、町として横断的な対応を検討するべきである。 ○今後の大規模改修事業等については、将来に向けた学校運営を見据えた改修が必要である。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○各学校の施設の修繕費用が毎年かなりの金額になっている。遊具の補修などPTAでもできるようなことは年1回の環境整備だけでなく、もっと回数を増やして行う必要がある。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 13
事業名		学校給食調理事業				学校給食センター	
予算額	79,509	決算額	77,940	財 源 内 訳			
				特定財源	64,182	一般財源	13,758

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 学校給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康増進と体力の向上を図りながら、健全な心身を育むために、美味しく魅力ある給食を提供します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

● 給食種別決算額		● 提供人数：人／日	
主食（米・パン）	6,720 千円	小学校	7校 777
副食（その他）	59,025 千円	中学校	4校 400
牛乳	12,195 千円	養護学校	1校 24
計	77,940 千円	給食センター	17
		計	1,218
● 給食提供数：食／年		● 牛乳提供数：個／年	
小学校	148,305	小学校	146,263
中学校	76,314	中学校	74,966
養護学校	3,846	養護学校	3,754
給食センター	3,477	給食センター	634
計	231,942	計	225,617

- ふるさと給食
 地場産物を取り入れた「ふるさと給食」を月1回実施し、教材として活用しています。

ふるさと給食のメニュー



地元産の白バイ貝を使用した炊き込みご飯です。

- 地産地消の推進
 給食センターと関係機関との情報交換会議を開催し、地場産物使用を推進します。
 令和2年度地元産野菜使用率 16.80%（令和元年度 16.00%）・米使用率 100.00%

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することができました。
 地場産物を使ったふるさと給食を実施し、地産地消の推進に寄与することができました。
 隠岐産魚介類を給食に取り入れ、児童・生徒の魚食及び漁業への理解を深めることができました。
 令和2年度から子育て支援策として給食費公費負担を実施、保護者負担軽減に資することができました。

(2) 今後の課題
 調理事業は給食費と町の一般財源により運営していますが、給食費の未納があり年々滞納繰越費が増加しています。新たな未納者を作らない、未納額の年度内清算を図ること等、徴収整理を進めることが必要です。また食材費の高騰が続いているため、質を落とさないよう配慮しつつ、食材発注・メニューを工夫することも重要です。地場産物の使用についても、必要量が安定して確保できるよう関係機関との連携が重要です。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 13
事業名		学校給食調理事業				学校給食センター	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○本町の給食は、大変評判が良く、成長期にある子どもたちにとって大きな役割を果たしている。</p> <p>○ふるさと給食について、工夫を重ねながらより質の高い給食の提供に努めている。特に鮮魚等は年間を通しての食材確保は困難であるが、野菜は計画的な生産が可能であると考えられ、地産地消の推進という意味からも回数を増やしていただきたい。</p> <p>○また、ふるさと給食は、ふるさと教育にもつながる大切な取組でもある。食材の原形を残した、昔からの調理法も取り入れるなどの工夫をして見てはどうか。</p> <p>○町の健康課題、食の課題を受けて、担当課からJAや農家へアプローチし、各学校が地域の農家に出かけて一緒に作業する等により、食育はもちろん、魅力ある学校、地域づくり、地元愛を育むことに繋がると思うので是非検討をお願いしたい。</p> <p>○衛生管理や異物混入予防について、委託業者への指導を徹底すること。</p> <p>○給食費の滞納については、保護者と協議の上、無理のない返済計画をつくり、少しずつでも徴収するよう努めること。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○学校給食を試食した際に、栄養士の発信力や学校給食に対する熱意を感じた。合併前は、4名の栄養士がいて、各学校を訪問し、食育に関する話をしたり、現場の子どもたちの様子を観察したりする機会が多くあった。現在の栄養士1名の体制で町内を網羅するのは大変であり、栄養士の複数配置や栄養教諭の配置により、更に充実した給食の提供、食育ができると思う。(配置基準等は分からないが)</p> <p>○栄養教諭、養護教諭と連携して、食事と知、徳、体との関係をことあるごとに生徒に理解させ、朝食を欠かさないこと、給食を完食することを目的に取り組むことで食への理解が進んだ。また、取り組みが充実すると、学習や対外試合など優秀な成績を収めることができるなど、よいサイクルが生まれた。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 14
事業名	青少年育成支援事業					社会教育課	
予算額	2,069	決算額	2,069	財 源 内 訳			
				特定財源	2,050	一般財源	19

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 「離島」というハンディキャップの解消を図り、子どもたちのより活発な活動を促進していくことを目的とし、島外遠征に係る渡航費用を助成します。

【2. 主な事業の概要（実績）】
 がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業
 交付決定者数（延べ人数）：808人

交付決定者数の過去3年間の推移 (人)				交付金額総計の過去3年間の推移 (円)			
	H30	R1	R2		H30	R1	R2
小学生	860	837	474	合 計	2,399,410	3,387,240	2,068,230
中学生	281	420	334				
合 計	1,141	1,257	808				

【補助対象】
 島外で開催される大会（全国規模の大会を除く）、交流・練習試合などの島外遠征に係る渡航費

【補助金額】
 航路旅客運賃助成事業補助金を適用し隠岐航路（往復）運賃の実費を助成
 小学生（西郷～本土間）3,020円以内
 （西郷～島前間）1,980円以内
 中学生（西郷～本土間）6,040円以内
 （西郷～島前間）3,940円以内



【3. 事業の成果及び課題】
 (1) 事業の成果
 がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業は、スポーツ活動だけでなく文化活動においても町内の児童生徒のより活発な活動を支援するための制度として評価されています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、利用人数が大幅に落ちましたが、約3分の2の予算を執行するなど、依然として高い需要があることが伺えます。
 (2) 今後の課題
 児童生徒の活発な活動をより一層支援することが求められており、過去のデータを分析した制度改正の検討が必要となっています。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 14
事業名	青少年育成支援事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○離島で育つ子どもたちが、島外の子もたちとスポーツを通して交流を図るなど多様な経験をするこ とは、技術面の向上とともに社会性の発達にも好影響をもたらすと思われる。参加人数の多少に関わら ず、遠征の助成は行うべきである。</p> <p>○良い事業であり、公教育としてのスポーツ活動であれば補助金交付について、町民から理解されると 考えらるが、島外での練習試合などは本来、保護者負担で賄うべき性質の活動だと考えられる。</p> <p>○遠征費をどこまで支援するのが今後の課題であり、宿泊費や指導者の旅費等に併せて制度の見直し について検討してはどうか。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○遠征の回数や人数などクラブごとに違うが、島外での試合は貴重な経験で、心身の育成に欠かせない ものであり、子どもも保護者も学校生活と社会体育は、とても近い関係になっている。ただ練習と大 会・遠征だけを目的とせず、地域の活動やボランティアなどにも積極的に参加するべきだと思う。その ためには、指導者講習や保護者会への参加依頼など積極的に行うことが大切である。</p> <p>○中体連の出雲地区新人戦の取りやめにより、この事業の持つ意味はさらに大きくなると考える。現 在、社会体育でない部活動（例えばバレーボールやテニスなど）の島外での対外試合の保障について、 中体連とも協議していく必要がある。</p> <p>○学校の小規模化により、課外体育、部活動は学校単位でなく、島後全体の社会スポーツに移行してい かざるを得ない。青少年スポーツのあり方を学校、スポーツ団体と連携し、現状把握と将来を見据え た、どこでも、どの子も好きなスポーツに取り組める体制づくりをお願いしたい。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 15
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
予算額	2,860	決算額	2,691	財 源 内 訳			
				特定財源	1,787	一般財源	904

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 地域と学校と家庭が連携・協働して、子どもたちの社会性や自主性、創造性等の豊かな人間性を育てます。

【2. 主な事業の概要（実績）】

結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業

放課後子ども教室	2,257 千円
安全管理員を配置し放課後の子どもの居場所の確保	
学校支援事業（地域コーディネーター活用事業謝金）	403 千円
家庭支援事業	31 千円
小中学校入学前に「親学講座」を実施	

令和2年度 放課後子ども教室実施状況

地区	教室名	開催日	開催場所	開催日数	参加児童 (延べ人数)	安全管理員 (登録人数)	登録 児童数
西郷	いきいき子ども教室	月	総合体育館	24	882	4	74
中条	中条遊びランド	月	中条小学校	23	542	3	40
有木	まにの広場	月・金	有木小学校	43	576	4	36
磯	にこにこ広場	火	磯小学校	27	370	4	39
北	きたっこ広場	月	北小学校・布施公民館	30	231	10	18
五箇	学センわくわく広場	月・水	五箇生涯学習センター	61	1,670	7	57
都万	遊びと学びの広場	月・木	都万小学校・都万公民館	30	362	4	26
合計				238	4,633	36	290



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

コロナ禍においても、感染症対策を徹底したうえで、子どもたちが放課後、安心・安全に過ごせる居場所づくりとして成果をあげています。また、地域のサポーターを活用することで、地域と学校の連携・協働活動の一環として実施しました。一般的な「預かり保育」的な事業ではなく、主に学習や体験活動を行う事業として評価されています。

(2) 今後の課題

放課後サポーターなど人材確保とあわせて人材育成が必要となっています。また、学校と地域を繋げる取り組みをコーディネーターと学校担当者が一緒になって取り組むよう働きかけが必要となっています。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 15
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○放課後子ども教室は、小学生にとって楽しく有意義な時間となっているが、地域により格差が生じているように感じられる。さらなる充実に向けて、サポーターの確保と育成に努めること。</p> <p>○学校支援事業について、学校教育では今後、より地域に開かれた学校づくりをしていくようになり、地域との協働も更に進められ、地域コーディネーターの役割はより重要になってくる。予算措置も含め、積極的な展開をお願いしたい。</p> <p>○家庭支援事業の「親学講座」は、家庭教育の充実強化のために大切な事業であると思う。予算を増額し、研修内容の充実と研修機会の拡大に努める必要がある。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○放課後子ども教室は、子どもにとっても保護者にとっても大切な事業である。現在、学校単位として実施されているが、もっと小さな分館ぐらいの単位で教室運営をすることで、より地域と密着した体験交流が期待できるのでは。サポーターも身近なところなら集まりやすいと思う。</p> <p>○学校（県立も含む）によっては、人材不足により放課後等の居場所の確保ができない現実がある。保健福祉課と連携して対策を講ずる必要がある。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 16																		
事業名	隠岐島文化会館管理運営事業					社会教育課																			
予算額	21,650	決算額	21,650	財 源 内 訳																					
				特定財源	0	一般財源	21,650																		
<p>【1. 事業の目的】 (単位：千円) 隠岐島文化会館を適正に管理運営し、町民の芸術文化活動の環境をつくります。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指定管理料 19,999 千円 隠岐島文化会館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。 ●レギュレーター（舞台照明部品）物品購入 1,134 千円 ●非常誘導灯取替工事 517 千円 <p>指定管理者による主な実施事業 (隠岐の島町教育文化振興財団)</p> <p>映画上映</p> <table border="0"> <tr> <td>若おかみは小学生 (2回)</td> <td>入場者数</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>” 樹木希林” を生きる (2回)</td> <td>入場者数</td> <td>55名</td> </tr> <tr> <td>ドラえもん (3回)</td> <td>入場者数</td> <td>448名</td> </tr> <tr> <td>今日から俺は！劇場版 (3回)</td> <td>入場者数</td> <td>461名</td> </tr> <tr> <td>ドラえもん (3回)</td> <td>入場者数</td> <td>288名</td> </tr> <tr> <td>新解釈・三国志 (3回)</td> <td>入場者数</td> <td>190名</td> </tr> </table> <p>○育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまね伝統芸能祭2020 (出演団体：石見神楽上府社中、奄美・沖縄の歌南西合唱団 群星、中村民謡研究会) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>上府社中による石見神楽公演</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>奄美・沖縄の歌南西合唱団と中村民謡研究会との共演</p> </div> </div> <p>○芸術文化支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて、主に大ホールを利用した事業の支援を行いました。 <p>○地域活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文芸隠岐発刊事業 <p>○展示・文化情報提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動の発表の場として、コミュニケーションホール等で絵画などの作品を展示しました。 <p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、多くの事業が中止となりましたが、本町の芸術・文化の核となる施設として、町民から利活用されています。今後も多様で質の高い芸術文化の提供を目指しています。</p> <p>(2) 今後の課題 全館の照明LED化について早急な対応が必要となっています。また、文部科学省の「個別施設計画の策定について(通知)」に基づき施設の長寿命化計画を策定し、優先度を踏まえた計画的な修繕が必要となっています。</p>								若おかみは小学生 (2回)	入場者数	6名	” 樹木希林” を生きる (2回)	入場者数	55名	ドラえもん (3回)	入場者数	448名	今日から俺は！劇場版 (3回)	入場者数	461名	ドラえもん (3回)	入場者数	288名	新解釈・三国志 (3回)	入場者数	190名
若おかみは小学生 (2回)	入場者数	6名																							
” 樹木希林” を生きる (2回)	入場者数	55名																							
ドラえもん (3回)	入場者数	448名																							
今日から俺は！劇場版 (3回)	入場者数	461名																							
ドラえもん (3回)	入場者数	288名																							
新解釈・三国志 (3回)	入場者数	190名																							

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 16
事業名		隠岐島文化会館管理運営事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○隠岐島文化会館は、本町の文化芸術振興の中心であり、町民が離島にあっても質の高い「舞台、音楽、演芸等」の文化芸術にふれる機会の創出をすることは、大切な役目の一つである。</p> <p>○文化・芸術活動の拠点として、町民のクラブ・サークル活動に利活用されており、その役割を果たしている。</p> <p>○小さな島の文化会館でもあるので、町民誰もが「文化会館の舞台に立ったことがある」という経験や思い出を残すことができるような、町民に寄り添ったイベントの企画も検討いただきたい。</p> <p>○文芸隠岐は多くの町民の寄稿に支えられ、年々充実しており素晴らしい取り組みである。</p> <p>○文化振興財団における諸事業がマンネリ化してよう感じる。町民のニーズを把握し、更に質の高い芸術活動も取り入れるよう工夫されたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 17
事業名	保健体育活動推進事業					社会教育課	
予算額	8,894	決算額	7,181	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	7,181

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
社会体育活動の推進、活性化を図るため、関係団体への補助金交付等の支援を行います。

【2. 主な事業の概要（実績）】

各種補助金等

- 隠岐の島町体育協会補助金 2,106千円
8大会を開催 8地区体協へ補助金交付
- 障がい者スポーツ振興事業委託料 246千円

〔隠岐の島町体育協会活動写真〕

全隠岐駅伝競走大会



全隠岐柔道選手権大会



〔障がい者スポーツ振興事業活動写真〕

健康スポーツ体操教室



ポールウォーキング



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

地域及び各種スポーツ団体の活動が活性化するように、体育協会などへの支援を行っています。隠岐の島町体育協会では予定されていた15大会のうち7大会が新型コロナウイルスの影響で中止となり、様々な制限が掛かる中、大会を延期にするなど工夫を凝らしながら事業を実施しました。

(2) 今後の課題

体育協会については、令和3年度より事務の移管先が中心となって行うため、より一層の連携協力が必要となっています。また、つなGO隠岐の島については、実行委員会で方向性の認識を統一し、連携して事業を実施する必要があります。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 17
事業名		保健体育活動推進事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○体育協会への補助金は、町民の健康体力づくりや社会体育の振興に役立っている。コロナ禍により活動が大きく縮小したことは残念であり、今後、withコロナの時代を迎えるにあたって、町民の健康推進をどのように進めていくのか検討が必要である。</p> <p>○各種スポーツ大会の助成だけでなく、障がい者、高齢者を含めたすべての町民の生涯スポーツを後押しするような事業の工夫が必要である。</p> <p>○体育協会の事務移管によって、事業が停滞・縮小しないようスムーズな移管手続きが望まれる。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 18
事業名	総合運動公園管理運営事業					社会教育課	
予算額	27,490	決算額	27,447	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	27,447

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 総合運動公園及び総合体育館を適正に管理運営し、町民の健康増進、スポーツの活性化を図るための環境をつくります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 指定管理料 24,087 千円
 総合運動公園及び総合体育館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》

隠岐の島町総合運動公園 [単位：人]

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
延べ人数	4,625	6,483	4,898	5,150	3,890	4,301

隠岐の島町総合体育館 [単位：人]

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
延べ人数	29,437	32,928	31,325	34,224	30,569	24,850

- 総合体育館アリーナ放送設備更新工事 571 千円
- レインボーアリーナ建具改修工事 2,750 千円

[レインボーアリーナ建具改修工事]



[レインボーアリーナの日]



【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果
 本町の社会体育、生涯スポーツの拠点施設として利活用されています。また、様々な体験教室を実施するなど健康増進においても、重要な施設となっています。
- (2) 今後の課題
 生涯スポーツ推進のため、指定管理者とより一層連携を密にし取り組んでいく必要があります。また、担当課（建設課）と連携しながら、計画的に施設の修繕を行っていく必要があります。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 18
事業名		総合運動公園管理運営事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動公園や総合体育館は様々なスポーツ活動の場として利活用されており、町民の健康体力づくりやコミュニティーづくりに貢献した。 ○利用者の状況だけでなく、施設の稼働率・使用状況、団体利用・個人利用の別等も見ていくとどこに課題があるのかわかりやすくなる。 ○あれだけ大きな施設を町民が活用しやすくする方策はまだまがあると考えられ検討していただきたい。スポーツに限らず各種イベントや、雨の日のウォーキング場、観客の活用等工夫し、町民の健康増進とスポーツの活性化を進め、より魅力ある施設を目指されることを期待したい。 ○町民が安全安心にスポーツ活動をするため、施設整備はしっかりと進めるべきである。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 19
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
予算額	10,461	決算額	10,213	財 源 内 訳			
				特定財源	24	一般財源	10,189

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

屋内温水プールを適正に管理運営し、町民の健康増進を図ります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 指定管理料 8,555 千円
 隠岐の島町屋内温水プールの管理運営を指定管理者である(株)MIしまねが行いました。

《施設の利用状況》 (延べ人数)

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
ビジター利用	5,060	3,952	4,240	4,492	4,570	2,672
会員利用	36,192	32,136	29,155	35,591	35,821	29,979
教育機関利用	1,648	1,508	1,512	1,466	1,455	1,170
その他利用	1,080	742	944	913	1,152	457
合計	43,980	38,338	35,851	42,462	42,998	34,278

- 温水プールチラー修繕費 817 千円
- プールクリーナー購入費 792 千円

〔温水プールチラー修繕工事写真〕



〔プールクリーナー写真〕



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

本町の健康増進の中核施設として幅広い年齢層に利活用されています。また、温水プール管理運営委員会を年2回開催し、意見を伺いながら、適切な運営の改善に取り組んでいます。

(2) 今後の課題

熱源機器と配管の早急な修繕が必要となっています。また、文部科学省の「個別施設計画の策定について（通知）」に基づき施設の長寿命化計画を策定し、優先度を踏まえた計画的な修繕が必要となっています。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 19
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○温水プールやジムの修繕・整備により利用者は快適・意欲的に活用し、健康の維持増進に努めることができた。</p> <p>○町民の健康増進のためにも、利用しやすい施設を目指した工夫を続けていただきたい。また、現役世代の利用促進についても努力されたい。</p> <p>○町民が安全安心に利用するため、施設整備はしっかりと進めるべきである。また、長く利用できるよう計画的な施設管理をお願いしたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 20
事業名	図書館管理運営事業					社会教育課	
予算額	45,355	決算額	44,957	財 源 内 訳			
				特定財源	2,000	一般財源	42,957

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

住民の知る権利や学習の権利を保障する学びの場として、図書館機能の充実を目指します。生涯学習の拠点施設として、蔵書・資料の充実に努めるとともに、学校や地区公民館など関係機関と連携を図りながら、住民の読書環境の整備を進めていきます。「隠岐の島町図書館振興計画（平成30年12月公開）」の数値目標に基づき、蔵書等の整備を進めていきます。

【主な事業の概要（実績）】

- 隠岐の島町図書館管理運営事業 32,729千円
 [事業費内訳]
 図書館指定管理費 32,556千円
 隠岐の島町図書館の管理運営を指定管理者である（公財）隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。
 事務費（ブックスタート絵本、印刷製本費 他） 173千円
 ・年間入館者数 41,485人（前年比▲14,337人） ・貸出冊数 58,826冊（前年比▲5,033冊）
- 図書館運営委員会開催費 66千円
 運営委員会の開催（6/5, 11/10）委員10名
- 図書館資料費 7,500千円
 [資料費内訳] 書籍、雑誌、新聞 6,000千円
 AV資料 1,500千円
- 図書館施設整備事業 1,078千円
 空調設備更新工事請負費 1,078千円



【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 図書館の管理運営を適正かつ円滑に行うため、年2回の図書館運営委員会を開催し、協議を行っています。新型コロナウイルス感染防止のため休館等もありましたが、貸出冊数が前年度よりも減少した一方で、大活字本の貸出冊数が大幅に増えるなど、図書館職員の創意工夫により新たな需要が見られました。
 施設面では、空調設備の保守点検時に不具合が発見された空調系統膨張タンクについて、事故を防ぐため緊急に対応し、更新工事を行いました。

(2) 今後の課題
 建物内の空調配管は、H11年建設以来大規模な点検調査や修繕を行っておらず、近年は数か所で水漏れが発生しているため、令和3年度に実施する点検調査の結果を踏まえ、修繕工事を行う必要があります。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 20
事業名		図書館管理運営事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○図書館の優れた読書環境により多くの町民に利用されている。このことによって町民の生涯学習や豊かな日常生活の向上に貢献している。</p> <p>○誰もが気軽に学びの場として活用できるようにスペースの工夫やwifi環境の強化、カフェのような図書館等、未来型の戦略も長期的な視点で検討していただきたい。</p> <p>○郷土に関する歴史的資料の収集や展示など、町民の興味関心を引くコーナーの設置は素晴らしい取り組みである。</p> <p>○町民が安全安心に利用するため、施設整備はしっかりと進めるべきである。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○いつ訪れても、常に展示の工夫がされ、また、蔵書も更新され、島の文化を支えるひとつの場所として大きな役割を果たしていると感じる。</p> <p>○本との出会いの場としてだけでなく、町民の「憩いの場」「居場所」としても大切な場所となっている。</p> <p>○今後のまちづくりの観点からも、郷土の歴史資料の宣伝・展示などの機会を充実していただきたい。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 21
事業名	文化財保存継承事業					社会教育課	
予算額	14,638	決算額	12,130	財 源 内 訳			
				特定財源	3,620	一般財源	8,510

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 文化財の保存及び活用のために必要な措置を講じることにより、町民の郷土に対する認識を深め、文化の向上に資することを目的とします。

【主な事業の概要（実績）】

- 牛突き習俗保存対策事業 2,896千円
 - ・突き牛導入費補助金（4件） 1,826千円 ※導入費の2/3 上限なし
 - ・突き牛処分費補助金（11件） 770千円 ※処分1頭につき、7万円
 - ・大会出場費補助金（30件） 300千円 ※1頭につき、1万円
- 無形民俗文化財補助金交付事業 1,993千円
 - ・対象：町内指定無形民俗文化財保持団体（交付実績：18団体中12団体）※対象経費1/2以内

- 指定文化財説明看板設置事業 1,089千円
 - ・町内指定文化財の説明看板を計画的に新設、更新します（英語説明併記）。

【R2対象文化財】

(県)中村のかぶら杉、玉若酢命神社古墳群、隠岐国分尼寺跡
 (町)物忌神社の大スギ、御客神社祭礼風流・銚子おんぎゃくさんのケヤキ、賀茂那備神社本殿



隠岐国分尼寺跡



R2. 11に指定された賀茂那備神社本殿

- 埋蔵文化財調査事業 3,480千円
 - 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為に対応するため、以下の2件の試掘調査を行いました。
 - ・西郷大橋地区ふるさと農道整備事業にかかる試掘調査（遺跡名：国府尾城跡）
 - ・シャモ谷川防災安全交付金(通常砂防)工事に係る試掘調査（遺跡名：久見魚切遺跡）



国府尾城跡関係試掘調査



久見魚切遺跡試掘調査

【3. 事業の成果及び課題】

- (1) 事業の成果

各種補助金を交付することにより、町内の指定文化財の保存・継承に繋がっています。特に牛突き習俗では、若い世代の牛主もみられるようになってきました。

文化財説明看板は過去に立てられたものが多く、現状にそぐわないものもあることから、新設・更新を行っています。またインバウンドへの対応のため、英語による解説文を併記しています。
- (2) 今後の課題

後継者不足により保存継承が難しくなっている無形民俗文化財については、財政的支援のほか、映像記録の作成など後世に伝え残す方策を検討する必要があります。また、歴史文化講座や現地説明会の開催等、町民が文化財への理解を深める機会を提供していきます。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 21
事業名		文化財保存継承事業				社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○牛突き習俗の継承に頑張っておられる牛の飼い主にとっては、貴重な補助金であり、当習俗の維持継承に役立っている。 ○無形民俗文化財補助金は地域の民族や地域特有の文化の継承にとって必要な補助金である。 ○無形民俗文化財の後継者不足については、大きな課題としてとらえ、体験の場の創出やふるさと教育で学習の機会を増やすなど、積極的に対策を講じる必要がある。 ○指定文化財説明看板の設置は、町民や観光客が島の歴史や文化を学ぶ上で効果的であり、今後とも計画的に新設、更新をお願いしたい。 ○また、インバウンドに対応する看板の整備は重要であり、QRコードを読み込んで多言語の案内が表記されたり、バーチャルで昔の遺跡が再現される等、積極的な改善も検討されたい。 ○文化財に特化した観光マップ、モデル観光ルート案内等、工夫すると学習や観光に活用され、価値が高まるのではないかと。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務評価委員会と同意見 ○文化財に関して小中学校の「ふるさと学習」、隠岐高校の「ジオパーク学習」があるが、その文化財の持つ意義まで掘り下げた学習を支援する必要がある。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 22
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
予算額	2,432	決算額	2,082	財 源 内 訳			
				特定財源	313	一般財源	1,769
<p>【1. 事業の目的】 (単位：千円) 国指定重要文化財建造物佐々木家住宅を適正に保存管理し、且つ有効活用を図り、町民等の文化的向上に資することを目的とします。</p> <p>【主な事業の概要（実績）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・管理清掃費（257日）受託者：3名 1,815千円 ・光熱水費・設備維持費 他 267千円 ・東郷・今津神楽公演開催費 0千円 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ●年間入館者数：1,086人（前年比▲1,492人） ●年間入館料：313千円（前年比▲540千円） <ul style="list-style-type: none"> ※入館料金については、入館者数の増を目的に、試験的に値下げを実施しました。 ・期間：R1年7月20日～R3年3月31日 ・料金：一般 411円→300円 18歳未満 無料 							
<p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果 毎年3月から11月の間一般公開を行っていますが、年々入館者数が減少している状況です。入館者数の増加を目指し、令和元年7月から令和3年3月までの間、入館料の値下げ（一般300円、18歳未満無料）を行いました。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染予防対策による休館等、コロナ禍の影響により大幅に減少しました。</p> <p>(2) 今後の課題 H30～R元年度に耐震診断を実施したところ、耐震補強が必要であるとの結果が出ました。また、前回の杉皮屋根葺替工事から約20年が経過しているため、改修工事が必要です。（R 3. 9～R 4. 9 閉館）更なる入館者の増加を目指すためにも、町民に文化財に対する知識や理解を深めてもらう必要があります。</p>							

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 22
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○佐々木家住宅においては、古来の生活感が蘇るような場所であって欲しい。現在行っている古民家で愉しむ昼食の田舎料理提供も食の文化として大切であり、続けて行って欲しい。</p> <p>○佐々木家住宅は貴重な文化財であるが町民は、古民家として一度見学したら、同じ住宅を何度も見ることはないと思う。入館者数や入館料の増にこだわるのではなく、住宅の維持管理で十分であると考え。なお、町民の入館者を増やそうと考えるなら、様々な事業など企画する必要があるが、費用対効果の面が心配である。</p> <p>○入館者を増やすため、観光的なプラスαを付加する戦略を考えてはどうか。例えば、地域おこし協力隊に運営を任せてみたり、各学校にアイデアを募集しコンテストするとか、島内外にコンペとして出すとか、そうすることで新しい土産物の開発や周辺の環境作り、他の文化財とのコラボした観光ルート等、観光や経済、学習資源の面から見直すことができるのではないか。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○事務評価委員会と同意見</p> <p>○来場者数を増やす手段や有効活用などは、地域住民が主となって行わないと続かないと思う。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 23
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
予算額	4,111	決算額	2,908	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	2,908
<p>【1. 事業の目的】 (単位：千円)</p> <p>公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。</p> <p>【2. 主な事業の概要（実績）】</p> <p>公民館分館活動費（西郷41分館）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>分館連絡会議は中止のため 写真なし</p> </div> <p style="text-align: right;">決算額 2,541千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分館活動を行うため活動費を支援しました。 ・コロナウイルス感染予防のため、分館連絡協議会の説明会が中止となりました。 <p>まちづくり活動推進費</p> <p style="text-align: right;">決算額 246千円</p> <p>(里山トレッキング東町八十八カ所巡り)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・隠岐の島町まちづくり運動協議会へ活動費を支援しました。 2部会で活動をしており、ひとつづくり部会では、ミニアドベンチャー教室、里山トレッキング東町八十八カ所巡り、生活環境部会では、町内環境パトロールを開催しました。コロナウイルス拡大防止のため、イベントが中止になった事業があり、大変残念でした。 <p>中央公民館活動費</p> <p style="text-align: right;">決算額 121千円</p> <p>(春ヨガ)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・青少年、家庭教育など各方面の講座や事業を実施しました。 ・コロナ感染防止のため、屋外や、人数制限つきの講座（釣り講座、ヨガ、インターネット講座）を開催し、様々な講座や事業を企画しました。次回の講座についても町民の皆さんのニーズに応えられるよう努力したい。 <p>(ひらめ釣り講座)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者講座は、あけぼの教室として、自主運営により事業の実施ができるよう支援しました。 ・放課後子ども教室など、公民館が実動となって実施しました。 <p>(ネットショッピング講座)</p>  <p>(あけぼの教室)</p> 							
<p>【3. 事業の成果及び課題】</p> <p>(1) 事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分館連絡会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としましたが、コロナ禍の中で開催できる分館活動の支援を行いました。公民館ニュースやホームページに募集掲載し、町民のニーズをとらえながら講座や事業を企画し参加者も多く、中にはキャンセル待ちがでる講座もありました。今後、より多くの方が気軽に公民館に立ち寄れるよう取り組む予定です。文化祭の中止により、初めてWEB文化祭を町のホームページに掲載しました。展示参加を募り、写真、動画にまとめ、多くの作品を掲載し、多数の方が閲覧されるなどコロナ禍における新しい作品発表の方法となりました。今後は展示内容、方法を再考し、次年度以降も実施に努めます。 ・高齢者学級「あけぼの教室」や、国際交流講座など幅広く活動をし、「まなぶ、つどう、つなぐ」機会を提供できたことが社会教育の一助となりました。 ・まちづくり運動協議会を通して、住民からの企画によるイベントを行い、地域の魅力を再発見することが出来ました。 <p>(2) 今後の課題</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、地域のイベントの開催が出来ませんでした。今後新しい生活様式に合わせたイベントや活動を考えていかなければなりません。特に子どもの自然体験活動が熱中症や荒天時等で開催が困難な状況にあります。企画段階で綿密な打ち合わせが必要です。</p>							

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 23
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍で活動しにくい中、地区の特性を生かした活動をしている。地域の学びと人々のつながりの拠点として、withコロナの新しい形を模索しつつ、活動を継続していただきたい。 ○町民のニーズに基づいた講座や各種教室の開催は、公民館における社会教育活動として良い取り組みであった。 ○まちづくり運動協議会と連携協力し、二つの部会の目的や趣旨に沿ったすばらしい活動を実施した。 ○あけぼの教室を自主運営にしたことにより、会員のニーズや意欲を大切に活動となった。 ○子どもたちの野外活動が減少している。公民館においては、今後とも自然体験や社会体験の場を積極的に企画されたい。 ○地域力の醸成を図るために公民館は重要であり、地域と密着し、地域の課題に取り組むためにも公民館職員の配置等の見直しが必要である。今後、公民館が社会教育機関として益々情報発信し、地域や人の動きを作っていくためにも人材、予算の確保をしっかりとお願いしたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ対策により取り組まれたWeb文化祭は、とても良い取り組みだったと思う。例年参加を楽しみに足を運ぶ方だけでなく、いろいろな層の方に見ていただく形となったと思う。 ○地域のイベントをコロナ禍を理由に中止することが多い中で、工夫を凝らしながら公民館活動を続けられたことは評価すべきことだと思う。 ○子どもたちの体験活動の充実には、以前行われていた「小学生ふるさと学習塾」「中学生ふるさと体験塾」や「クヌギの森」などが参考になるのではないか。(内容は小中学生に必要な体験を中心に各公民館が1回ずつ地元の資源を使った活動を行っていた。) ○ここ20年来、小中学校でもふるさと学習等で体験学習を行っているため、各校の取り組みとの整合性を考えて計画する必要がある。 ○「青少年野外活動のつどい」(キャンプ活動)が何とか復活できないものか。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業 (2/4) -布施公民館-					布施公民館	
予算額	1,259	決算額	791	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	791

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要(実績)】

- 公民館分館活動費 (布施3分館・中村9分館) 決算額 613千円
 - ・分館活動の活性化を促すための活動を支援しました。
 - ・コロナ禍で分館長会議が開催できなかったため、中村地区で後日意見交換会を行いました。
- 布施地区館活動費 決算額 67千円
 - ・各種講座・教室、その他活動を18回行いました。
 - ・学校支援地域本部事業、放課後こども教室など、公民館が実働となって実施しました。

※立志式は該当者がいなかったため未開催



エンディングノート活用講座



わら細工



椅子ヨガ

- まちづくり活動推進費 決算額 20千円
 - ・まちづくり活動推進に寄与する花いっぱい運動への助成を行いました。

※浄土ヶ浦祭はコロナ禍により中止



花いっぱい運動



とんど焼き



布施手づくり作品展

- ふるさと自然体験活動費 決算額 91千円
 - ・北小学校のサマー合宿へ活動支援を行いました。



サマー合宿



サマー合宿

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

- ・布施・中村地区全体での分館連絡会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としましたが、布施地区では、分館ごとに活動内容や地域課題について話し合い、中村地区では意見交換会を開催することで円滑な分館活動を支援し、社会教育の一助となりました。
- ・各種講座は、感染防止策を施し開催することができ、地域との連携が図れました。
- ・文化祭は共催の浄土ヶ浦祭りは中止となりましたが、布施手づくり作品展に各種団体が作品を展示することで、地域からの情報発信を行うことができました。
- ・北小のサマー合宿は、コロナ禍により地域との交流は控え目となりましたが、布施海岸での自然体験や郷土料理づくり活動により、地域と学校との連携が図れ、久しぶりに子供たちの声が地区内に響き、地域の活性化にも寄与することができました。

(2) 今後の課題

高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業（2/4）-布施公民館-					布施公民館	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○コロナ禍の中、布施地区の特色を生かした講座・教室などの諸事業を展開し、コミュニティーづくりに貢献した。地域の学びと人々のつながりの拠点として、withコロナの新しい形を模索しつつ、活動を継続していただきたい。</p> <p>○子どもたちの自然体験や文化伝統体験について、学校や関係機関と協力して実施し、成果をおさめた。</p> <p>○布施公民館は、管轄区域が布施と中村の2地区となっており、地区公民館活動のさらなる充実のため職員体制を2名から3名になるよう検討願いたい。</p> <p>○地域力の醸成を図るために公民館は重要であり、地域と密着し、地域の課題に取り組むためにも公民館職員の配置等の見直しが必要である。今後、公民館が社会教育機関として益々情報発信し、地域や人の動きを作っていくためにも人材、予算の確保をしっかりとお願いしたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○コロナ対策により取り組まれたWeb文化祭は、とても良い取り組みだったと思う。例年参加を楽しみに足を運ぶ方だけでなく、いろいろな層の方に見ていただく形となったと思う。</p> <p>○地域のイベントをコロナ禍を理由に中止することが多い中で、工夫を凝らしながら公民館活動を続けられたことは評価すべきことだと思う。</p> <p>○子どもたちの体験活動の充実には、以前行われていた「小学生ふるさと学習塾」「中学生ふるさと体験塾」や「クヌギの森」などが参考になるのではないか。（内容は小中学生に必要な体験を中心に各公民館が1回ずつ地元の資源を使った活動を行っていた。）</p> <p>○ここ20年来、小中学校でもふるさと学習等で体験学習を行っているので、各校の取り組みとの整合性を考えて計画する必要がある。</p> <p>○分館対象の研修メニューを用意し、分館が選んで学習する支援を充実する必要がある。現代的課題（人権・平和・環境・共生社会・少子高齢化社会・情報化社会など）の学習は、参加者が少ないなどの課題はあるが、避けては通れない社会教育の柱の一つである。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 25
事業名	公民館活動振興事業 (3/4) -五箇公民館-					五箇生涯学習センター	
予算額	1,432	決算額	1,185	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	1,185

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要 (実績)】

●公民館分館活動費 (分館美化活動)

決算額 843千円



- ・分館活動を支援しました。
- ・コロナ禍により分館連絡協議会の開催はできなかったが、時期を見て意見交換会を実施し、今後の活動の参考になりました。

●まちづくり活動推進費 (冬期体力づくり教室)

決算額 180千円



- ・第54回冬期体力づくり教室 (寒稽古) では、「冬の体力づくりを通して心と体を鍛えよう」を目標に実施し、体力づくりを通して心と体を鍛え、健康な体作り、元気なあいさつの向上に努めました。
- (参加者：103名、指導者：30名)
- 期間：令和3年1月17日、令和3年1月23日 早朝
- 種目：ジョギング
- ・今年度はコロナ禍により、変則1週間となりました。

●幸齢者ふるさと学園活動費

決算額 100千円



- ・高齢者講座は、幸齢者ふるさと学園と題し、実行委員会方式で計画、実施しました。
- ・町内在住の60歳以上の方を対象に4回の教室を開催しました。
- ・常角 敏講師をお招きし、「五箇の歴史」について講座を開催しました。6名の参加者の方々は、地域を再認識することができました。

●公民館活動費



- ・文化部門展示会を開催しました。(五箇どんと祭りは中止)

●その他経費

図書購入費等 決算額 62千円

- ・隠岐の島町図書館の分室としての新刊本の購入をしました。

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

- ・分館連絡会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としましたが、コロナ禍の中で集まる事が難しい中、地域では、「三密回避」を念頭に地域活動を継続することができました。
- ・高齢者事業は、参加者が計画した事業を公民館が支援し、高齢者同士の交流・つながり、また地域学習や地域社会活動を促しました。
- ・どんと祭りが中止となりましたが、文化部門の作品展示会を開催し、作品や活動の状況などをホール等に展示することで次年以降への創作活動意欲の継続を図ることができました。
- ・町立図書館と連携して県立図書館の図書の配本をセンター図書室、五箇診療所及び久見診療所で行い、利用される方の利便性の向上が図れました。

(2) 今後の課題

高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 25
事業名	公民館活動振興事業（3/4）-五箇公民館-					五箇生涯学習センター	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍で活動しにくい中、地区の特性を生かした活動をしている。地域の学びと人々のつながりの拠点として、withコロナの新しい形を模索しつつ、活動を継続していただきたい。 ○幸齢者ふるさと学園は、町民のニーズを踏まえながら魅力ある活動を企画し実施した。 ○五箇地区の伝統的な事業である冬期体力づくりは、子どもたちの健全育成に大きく貢献している。 ○五箇地区の図書館として、診療所への配本など運営について工夫し、住民の利便性の向上に努めた。 ○地域力の醸成を図るために公民館は重要であり、地域と密着し、地域の課題に取り組むためにも公民館職員の配置等の見直しが必要である。今後、公民館が社会教育機関として益々情報発信し、地域や人の動きを作っていくためにも人材、予算の確保をしっかりとお願いしたい。 							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ対策により取り組まれたWeb文化祭は、とても良い取り組みだったと思う。例年参加を楽しみに足を運ぶ方だけでなく、いろいろな層の方に見ていただく形となったと思う。 ○地域のイベントをコロナ禍を理由に中止することが多い中で、工夫を凝らしながら公民館活動を続けられたことは評価すべきことだと思う。 ○子どもたちの体験活動の充実には、以前行われていた「小学生ふるさと学習塾」「中学生ふるさと体験塾」や「クヌギの森」などが参考になるのではないか。（内容は小中学生に必要な体験を中心に各公民館が1回ずつ地元の資源を使った活動を行っていた。） ○ここ20年来、小中学校でもふるさと学習等で体験学習を行っているので、各校の取り組みとの整合性を考えて計画する必要がある。 ○分館対象の研修メニューを用意し、分館が選んで学習する支援を充実する必要がある。現代的課題（人権・平和・環境・共生社会・少子高齢化社会・情報化社会など）の学習は、参加者が少ないなどの課題はあるが、避けては通れない社会教育の柱の一つである。 							

※印の項目については、記載しないこと。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 26
事業名	公民館活動振興事業 (4/4) -都万公民館-					都万公民館	
予算額	1,638	決算額	1,072	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	1,072

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要 (実績)】

公民館分館活動費 (都万13分館)	決算額	761 千円
都万青少年育成事業	決算額	76 千円
都万公民館活動費	決算額	225 千円



エンディングノート活用講座



「都万笑福館」新庁舎見学



図書事業



協働のまちづくり事業
(都万小学校デーキャンプ)



協働のまちづくり事業
(都万中学校デーキャンプ)



子どもクッキング教室



しいたけ菌入れ体験教室



夏休み宿題教室



お楽しみクッキング

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

- ・分館連絡会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としましたが分館活動ができるだけ円滑に実施できるよう支援しました。中には地域課題解決に取り組んだ分館もあり、浜那久分館が実施した「手作りマスク作りと全戸配布」津戸分館が継続実施している「津戸地区在住親子と他地区在住親子の交流活動」などありましたが、全く活動できない分館もありました。
- ・都万高齢者教室「都万笑福館」は、指導者に恵まれ7月からの開講にもかかわらず10回も活動することができました。適度に体を動かしたり、頭を使ったり、打ちたての美味しい手作りソバを食べたりと元気な高齢者が集う良い機会の提供ができました。
- ・協働のまちづくり事業の採択を受け、都万小、都万中のデーキャンプ活動支援を行いました。都万西部地区で活動することで普段できない素潜り漁や外海でのシーカヤックを体験し郷土愛を育みました。

(2) 今後の課題

新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベントが中止となりましたが都万公民館では多くの講座や教室を開催する事ができました。県内でも大規模なクラスターが発生し、新型コロナウイルス感染症にかかる差別事象も起こっていることから人権学習を進め差別のないまちづくりを行なう必要があります。

令和2年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 26
事業名	公民館活動振興事業（4/4）－都万公民館－					都万公民館	
<p>【4. 事務評価委員会の評価 ※】</p> <p>(1) 評価の概要</p> <p>○コロナ禍で活動しにくい中、地区の特性を生かした活動をしている。地域の学びと人々のつながりの拠点として、withコロナの新しい形を模索しつつ、活動を継続していただきたい。</p> <p>○都万笑福館の活動は、都万公民館の伝統的な主要事業として定着し、住民の学習活動やコミュニティーづくりに貢献した。</p> <p>○小・中学校と連携し、子どもたちの自然体験や生活体験を中心に充実した活動を実施した。</p> <p>○地域力の醸成を図るために公民館は重要であり、地域と密着し、地域の課題に取り組むためにも公民館職員の配置等の見直しが必要である。今後、公民館が社会教育機関として益々情報発信し、地域や人の動きを作っていくためにも人材、予算の確保をしっかりとお願いしたい。</p>							
<p>【5. 教育委員会の意見 ※】</p> <p>○コロナ対策により取り組まれたWeb文化祭は、とても良い取り組みだったと思う。例年参加を楽しみに足を運ぶ方だけでなく、いろいろな層の方に見ていただく形となったと思う。</p> <p>○地域のイベントをコロナ禍を理由に中止することが多い中で、工夫を凝らしながら公民館活動を続けられたことは評価すべきことだと思う。</p> <p>○子どもたちの体験活動の充実には、以前行われていた「小学生ふるさと学習塾」「中学生ふるさと体験塾」や「クヌギの森」などが参考になるのではないか。（内容は小中学生に必要な体験を中心に各公民館が1回ずつ地元の資源を使った活動を行っていた。）</p> <p>○ここ20年来、小中学校でもふるさと学習等で体験学習を行っているので、各校の取り組みとの整合性を考えて計画する必要がある。</p> <p>○分館対象の研修メニューを用意し、分館が選んで学習する支援を充実する必要がある。現代的課題（人権・平和・環境・共生社会・少子高齢化社会・情報化社会など）の学習は、参加者が少ないなどの課題はあるが、避けては通れない社会教育の柱の一つである。</p>							

※印の項目については、記載しないこと。